

将来の妊娠について考えよう

てんかんのある多くの方が
元気なお子さんを授かっています。
妊娠を見据えて、正しい知識を獲得し、
しっかりと準備をしましょう。

不安なことがあれば、遠慮なく主治医の先生に相談しましょう。
妊娠中・授乳中のお薬の使用についてさらに不安なことがあれば、
主治医の先生とご相談の上、紹介状を持参いただき、
お近くの「妊娠と薬情報センター」相談外来で
ご相談いただくのもよいでしょう。



監修 加藤昌明 先生(むさしの国分寺クリニック 院長)

加藤先生からのメッセージ

てんかんのある方で、将来お子さんを産み育てることに漠然と不安をお持ちの方がいらっしゃるかと思います。でも大丈夫です。てんかん発作が止まっている場合はもちろん、少々発作が起こっていても、てんかんのお薬を飲みながら、元気な赤ちゃんを産み育てている方が大勢いらっしゃいます。

正しい情報を得て、適切に準備すれば、自信を持って、妊娠・出産に臨むことができます。

このリーフレットのシリーズは、そのためにいろいろな医師や支援者が作成しました。

この10年ほどでてんかんの治療は大きく進歩し、妊娠中に使いやすいお薬が、広く処方されるようになってきています。ですので、古い情報ではなく、そういった新しい情報を知ることが大切です。そして妊娠する前にあらかじめ、主治医と相談し、妊娠中に使いやすいお薬に調整しておくことも大切です。そのようなお薬を、妊娠した後も飲み続け、大きな発作が起こらないようにすることで、元気なお子さんを産むことができます。

このリーフレットを出発点として、正しい情報にアクセスし、主治医や支援者と相談しながら、安心して妊娠を迎えられる準備が整うことを、願っています。

てんかんinfo

(<https://www.tenkan.info/about/women/>)

てんかん患者さん向けに、てんかんや日常の困りごとに対する有益な情報の提供を目的としたWebサイトです。女性のでんかんについてさらに詳細な情報を掲載しております。



公益社団法人 日本てんかん協会(波の会)

(<https://www.jea-net.jp/>)

てんかんのある人とその家族が安心して暮らすことを応援する「相談ダイヤル(無料)」を開設しています。てんかんのことで困ったら、お気軽にお電話してください。



■ てんかんとはどんな病気？

てんかん発作を繰り返す脳の病気で、子どもから大人まで、性別、人種に関係なく発症します。

日本では約100万人のてんかん患者さんが存在します。

てんかん発作は、発作の始まる脳の部位によって、「焦点（起始）発作」と「全般（起始）発作」の二つに分類されます。

焦点発作と全般発作は、てんかん発作時の意識の有無や発作の症状に応じてさらに細かく分類されます。

また、てんかんには、さまざまな症候群があり、それぞれ発作の特徴が違ったり、治りやすさが異なったりします。

■ 自分の子どもは先々てんかんになりませんか？

ほかの多くの病気と同じで、てんかんも「体質」と「環境要因」とがさまざまな程度で混ざり合って発症します。

「体質」というのは、てんかんを発症しやすい性質のことです。

「環境要因」というのは、例えば頭部外傷や低酸素脳症といった何らかの後天的なアクシデントのことで、これによって発症するてんかんもあります。

また、原因がわからず発症するてんかんもあります。

お子さんが先々てんかんになりやすいかどうかは、こういったてんかんの原因やタイプによって変わってきます。

■ 妊娠を見据えて気をつけることは？

全身けいれんや意識を失って転倒する発作などが起こると、ご自身の怪我だけでなく、おなかの赤ちゃんにもストレスがかかる可能性があります。妊娠中にはこのような強い発作をできるだけ抑えることが大切です。そのため、てんかん発作を治療するお薬は継続しましょう。

このごろは妊娠中に使いやすいお薬も増え、お薬を飲みながら元気な赤ちゃんを産むことができます。

お薬について心配なことがあれば、まず主治医の先生に相談し、全国の「妊娠と薬情報センター」での相談や、てんかん専門医の受診もご検討ください。



妊娠と薬情報センター

(<https://www.ncchd.go.jp/kusuri/>)

妊娠中や妊娠を希望される女性で、妊娠・授乳中の薬物治療に関して不安を持つ方のご相談に対応しています。全国47都道府県の拠点病院に「妊娠と薬外来」を設置しており、各地域の相談外来で相談を受けていただくことができます。



医療関係者の皆様へ

ユーシービージャパン株式会社の製品情報およびてんかんの疾患情報につきましては、UCBCares® てんかんからご確認ください。

UCBCares®てんかん

(<https://hcp.ucbcares.jp/epilepsy>)



本資料「てんかんと共に生きるあなたへ①」のPDFはこちらから。

